

11. 免疫

Immune Disorders

【1】期 間 2020. 5. 21～2020. 6. 1

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎村川洋子（教授、難病総合治療センター）

担当講座：免疫学，整形外科学，リハビリテーション部，小児科学，難病総合治療センター，内科学第三（膠原病内科，神経内科学）病態病理学

【3】一般目標 [G10 (General Instructive objective)]

膠原病および膠原病類縁疾患，免疫不全症の病態を理解し，症候，診断，治療について学ぶ。

1. 各疾患における原因，病理所見を理解する。
2. 各疾患における血液検査，尿検査，免疫学的検査の意義や動向を理解する。
3. 各種自己抗体と疾患や病態との関連性を理解する。
4. 各疾患における病態，症候，診断法，治療，予後について理解する。
5. 自己免疫の概念を理解する。
6. 標的治療と免疫学的機序の関係を理解する。
7. 原発性免疫不全症の病因（機序），症候，診断，治療，予後について理解する。

【4】総合評価

コース終了時に，その週の学習効果をレポートで評価します。

課題は、コース後半に Moodle に掲載します。6月1日までに Moodle で提出してください。

【5】参考図書（◎は学生購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

1. 内科学. 矢崎義雄 総編集 朝倉書店
2. 膠原病学 塩沢俊一著 丸善
3. 内科医のためのリウマチ・膠原病診療ビジュアルテキスト 上野征夫 医学書院
4. Rheumatology, Klippel, Dieppe Eds. Mosby Arthritis and Allied Conditions, Koopman Eds. Williams & Wilkins
5. Dubois' Lupus Erythematoses and related diseases. Wallace, Hahn Eds. Williams & Wilkins
6. 先端医療シリーズ 19 ・ アレルギー・リウマチ・膠原病「アレルギー・リウマチ・膠原病の最新医療」先端医療技術研究所
7. 現代リハビリテーション医学 改訂第3版 千野直一 編 金原出版 2009年
8. 膠原病診療ノート—症例の分析・文献の考察・実践への手引き 第4版 三森明夫、2019年
9. アミロイドーシス診療のすべて—ガイドライン完全解説、山田正仁 2011、医歯薬出版
10. 図説関節リウマチの手術 松井 井上 勝呂 編集 MEDICAL VIEW 社 2002年
11. 標準整形外科第9版 鳥巢岳彦 医学書院 2005年
12. EXPERT 膠原病リウマチ第2版 住田孝之編 診断と治療社 2006年
13. 全身性エリテマトーデス 臨床マニュアル 第3版橋本博史 日本医事新報社 2017年
14. リウマチ病学テキスト 改訂代2班 診断と治療社 2016年。

15. ベーチェット病診療ガイドライン 2020 (日本語) 単行本 - 日本ベーチェット病学会 (監修), 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患政策研究事業) ベーチェット病に関する調査研究班 (編集) 2019 年
16. 全身性エリテマトーデス診療ガイドライン 2019 - 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 2019 年

【6】局所解剖 なし